**7-1. call AB = AをBと呼ぶ**

目的：callを使って、英語で言えない単語を尋ねることができる。

対象：中学二年生

時間：20分

準備：ワークシート、ピクチャーカード

**＜タスクの進め方＞**

○Pre-task

１．教師は、芸能人の写真や身の回りの物を見せて、call (～を～と呼ぶ)を導入する。

(例1)　キムタクの絵を見せる。

　　　T : Everybody, please guess. He is cool and a member of SMAP.

Who is he?

 S : Kimura Takuya.

 T : That’s right. Repeat after me. We call him Kimutaku.

 Class : We call him Kimutaku.

 T : Excellent.

(例2)パソコンを見せる。

　　　T : Everybody, do you know this? What do you call it in Japanese?

 S : Pasokon.

 T : Great. Repeat after me. We call it pasokon in Japanese

 Class : We call it pasokon in Japanese.

 T : Excellent.

２．黒板に例文を板書して、call(~を~と呼ぶ)の形式と意味を生徒に気付かせる。

○Task

１．隣同士のペアに異なるワークシートを配布する。

２．教師はワークシートのmodel dialogを導入する。

３．じゃんけんをし、勝った生徒は、尋ねたい絵についてdialogueの会話をしワークシートに記入する。

４．次に負けた生徒が尋ねる。4つ終えたら、ペアを変えるために席をずら

す。

５．同じことを繰り返す。

６．すべて埋めたら、1つ選びwe call 日本語　英語 in English の形の英文を書かせる。

＊　隣同士がペアとなるので、必ず隣の列どうしが異なるワークシートを持　たせること。

**ワンポイントアドバイス**

Call it などに気を付けさせ、英語らしい発音ができるようにさせるとよい。